

令和元年度 串間市立秋山小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

学校経営ビジョン：素直で明るい少人数の児童、意欲ある教師集団、学校への理解と期待の姿勢をもった保護者、協力的な地域人材を秋山小学校の教育環境の「よさ」として生かし、教職員が一丸となって児童がしっかりとした夢をもち、夢の実現を目指して頑張る「明るい子、正しい子、強い子」の育成に取り組む。 【4段階評価 4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する】

評価項目	具体的目標	方策・手立て	自己評価					成果と課題	評価者評価					学校関係者評価委員の意見
			4	3	2	1	総合		4	3	2	1	総合	
へ 明 る 徳 い 育 子 の 充 実 育 成	基本的な生活習慣の定着	1 家庭と連携した基本的な生活習慣の定着を図る指導の充実 ・心からのあいさつを実行し、整った学習環境を整備し、時間を大切に活動を行う。		○				○ あいさつについては、家庭への啓発や児童への指導を通して、定着してきている。今後も継続して指導を行う必要がある。		○				3 ・通学時のあいさつは、上級生を中心によくしてくれている。 ・日頃のあいさつでは、孫のような存在感に浸ることがある。通学路から離れた所で作業している時でも、大きな声であいさつしてくれるので有り難いです。 ・人権教育の充実も図られていると思う。 ・地域・家庭との連携を図った体験活動等が実施されており、今後も継続してもらいたい。
	望ましい人間関係の育成	2 生徒指導の三機能を生かした学級経営の推進 ・教職員が、児童に相手の立場や気持ちを意識した実践ができるように教育活動全体を通して指導し、人権教育の充実を図る。		○				○ 全校または一部における多様な集団づくりの工夫を図りながら、互いの立場や良さを理解し合う活動に取り組むことができた。		○				
	道徳教育の充実	3 道徳の時間の完全実施と充実 ・学校参観日にあわせて、1月に道徳参観日を実施する。 ・全職員で行う心の教育に取り組む。	○					○ 「特別の教科『道徳』」の学習の授業研究に取り組み、1月の参観日には計画に沿って道徳授業を実施することができた。また、豊かな心を育むために、職員による読み聞かせを実施することができた。		○				
	体験活動の充実	4 地域・家庭との連携を図った体験活動の充実 ・教育効果を高めるために、地域の素材や人材を生かした学習や活動を積極的に取り入れる。		○				○ ものづくり体験や茶摘み、グラウンドゴルフ交流会等に加えて、本城干潟の生き物観察やキンカン収穫体験などの地域素材や人材を活かした活動を取り入れて実施することができた。		○				
へ 正 し 知 い 育 子 の 充 実 育 成	基礎・基本の学習内容の定着	5 授業時間を確保し、基礎・基本の学習内容の定着 ・授業のねらいを明確にし、達成するための指導の工夫を行う。 ・学力調査結果の分析及び考察を行い、指導に生かす。		○				○ 職員研修において、授業のめあてとまとめを意識した授業づくりに努めることを共通理解して実践してきた。今後も授業改善の視点に照らして研究を推進しながら、学習の成果を上げていきたい。		○				3 ・授業の改善、研究等は常に実施されていると思う。 ・先生方は努力していると思われるが、家庭でも向上心を育む必要がある。 ・漢字検定に加え、日本語検定も加えて欲しい。
	個に応じた指導の充実	6 個に応じた指導の徹底 ・個別の指導計画を生かした指導と計画の改善を図る。 ・単元末テストの個人目標の設定と目標の完全達成を目指す。		○				○ 全児童の個別指導計画を作成し、個別の進度に合った進め方ができる手法も取り入れながら、個々が伸びる指導を実践してきた。		○				
	読書の習慣化	7 読書教育の推進 ・朝の読書の時間を活用した「くしまっ子読もうよ100冊」を完読する。 ・PTAと連携した家読を推進する。		○				○ 児童の興味・関心に照らした本の購入により、読書量が増えた。また、ノーマディア・デーに合わせて家読を推進し、家庭の協力のもと実践してきた。		○				
	各種テストの実施	8 各種検定等の実施と習熟 ・夢実現のために必要な学力の向上と定着を図る。		○				○ 漢字検定やCRT検査に向けた定着への取組を通して、習熟を図ることができた。		○				
へ 強 い 子 の 育 成	運動量の確保	9 体力向上プランに基づいた基礎体力の向上 ・教科体育や外遊びの充実で運動量の確保に努める。 ・年間を通した体力づくりの指導とその成果を発表する機会を設ける。	○					○ 体力向上プランに基づいて運動量の確保を意識した授業づくりと休み時間の運動遊びを充実させることができた。経験できる運動の種類も増え、技能面も向上してきている。	○					4 ・児童の育成を考え、徹底した指導が実施されていると思う。 ・体力向上プランについては、伝統ある秋山小独自の特色あるものと評価すべきである。地区との合同運動会が示すとおり、長い歴史の上に立った地域ぐるみの行事であり、学校と住民が一体となった事業に成果があらがないことはないと思う。 ・競争相手が少なく、体力向上につながる競争意欲を高める工夫を図る必要がある。 ・「弁当の日」の実践は、「食」への関心の高揚と併せて感謝の気持ちを抱かせる面からも必要な指導だと思われるので、継続してもらいたい。
	健康習慣の定着	10 基本的な健康習慣の定着と家庭と連携した指導の推進 ・エチケット点検を継続して実施する。 ・「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」「立腰指導」に取り組む。	○					○ 家庭の協力により、「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」の定着が図られてきている。「立腰指導」については、朝のストレッチを取り入れることで姿勢の改善に力を注ぐことができた。	○					
	食育の推進	11 食育の推進 ・学期一回の「弁当の日」を実施する。 ・栄養教諭と連携した給食指導を通した栄養指導の充実を図る。	○					○ 遠足や行事に合わせて「弁当の日」を実施し、食への関心を高めることができた。また、給食時間や栄養教諭との栄養指導により、食事の様子に改善が見られるようになってきている。	○					
	保健学習の充実	12 養護教諭と連携した保健学習の充実 ・養護助教諭とチームティーチングによる保健の授業を実施する。 ・けがやインフルエンザの情報共有し保健安全意識を高める指導を行う。	○					○ 性教育やがん教育の年間指導計画を整備し、保健及び学級活動における学習を計画的に実施することができた。		○				
小 中 高 一 貫 教 育 の 推 進	小中連携、小小連携、交流学	13 小中連携、小小連携による集合学習の充実、極小規模校同士で協力し合った学習の充実		○				○ 小中高の連携を念頭に置きながら、各組織の計画に沿って取り組むことができた。また、都井小、市木小、北方小、大束小、福島小、串間中との交流活動を通して、お互いの良さを理解し、刺激を得る機会にすることができた。		○				3 ・小小連携、小中連携による集合学習の充実等は、これまでの取組や説明で充実が図られていると思われる。 ・高齢者とのグラウンドゴルフをはじめとした各種交流会において、積極的に児童達が高齢者に対応する姿を見て、他校の子ども達にないような親近感を感じた。このことが子ども達の将来像に好影響を及ぼすものと思う。 ・市外も含めて、大規模校との連携を図ることにより、さらに他校から刺激を得る取組の充実を図る必要がある。
	習の充実	「くしま学」を生かし故郷を愛し故郷に誇りをもつための学習の工夫と充実 ・「くしま学カルタ」の活用を図る。		○				○ 「くしま学カルタ」に取り組む時間を確保し、計画的に実施することができた。市のタルタ大会においては、今年度も代表児童がベスト8に入賞することができた。		○				
		学校の教育活動を広報し地域・家庭へ理解してもらうための取組の充実 ・学校参観や施設開放、情報提供等で地域に開かれた学校づくりに努める。	○					○ オープン参観日や秋山地区合同運動会、高齢者とのグラウンドゴルフ交流会をはじめ地域の方々に参加と協力をいただきながら、地域ぐるみの教育活動を展開することができた。また、定期的なホームページの更新や学校便り等により、情報を発信することができた。		○				